

資料2 落札者決定基準について

別紙のとおり

宝 塚 市  
新ごみ処理施設等整備・運営事業

落札者決定基準

令和3年8月

宝塚市

## 目次

I	落札者決定基準の位置づけ	1
II	落札者の決定方法等	1
1.	落札者の選定方式	1
(1)	参加資格審査	2
(2)	基礎審査	2
(3)	加点審査	2
III	落札者の決定	6

## I 落札者決定基準の位置づけ

この落札者決定基準（以下「本書という。」）は、宝塚市（以下「本市という。」）が、「新ごみ処理施設等整備・運営事業」（以下「本事業という。」）の実施にあたって、本事業を実施する民間事業者（以下「事業者という。」）の募集及び選定するに当たり、本事業に応募しようとする入札参加者を対象に公表する入札説明書と一体のものである。

また、本書は、事業者選定にあたって、入札参加者のうち最も優れた提案を行った者を客観的に評価し選定するための方法、評価基準等を示すものである。

## II 落札者の決定方法等

### 1. 落札者の選定方式

本市は、本事業を実施する事業者に対し、本施設の設計、建設及び運営を通じて、効率的・効果的かつ安定的・継続的なサービスの提供を求めるものである。したがって、事業者の選定にあたっては、入札金額のほか、事業者の有する高度な能力やノウハウ等の入札金額以外の要素を加えて総合的に評価し、落札者を決定する総合評価一般競争入札方式を採用する。

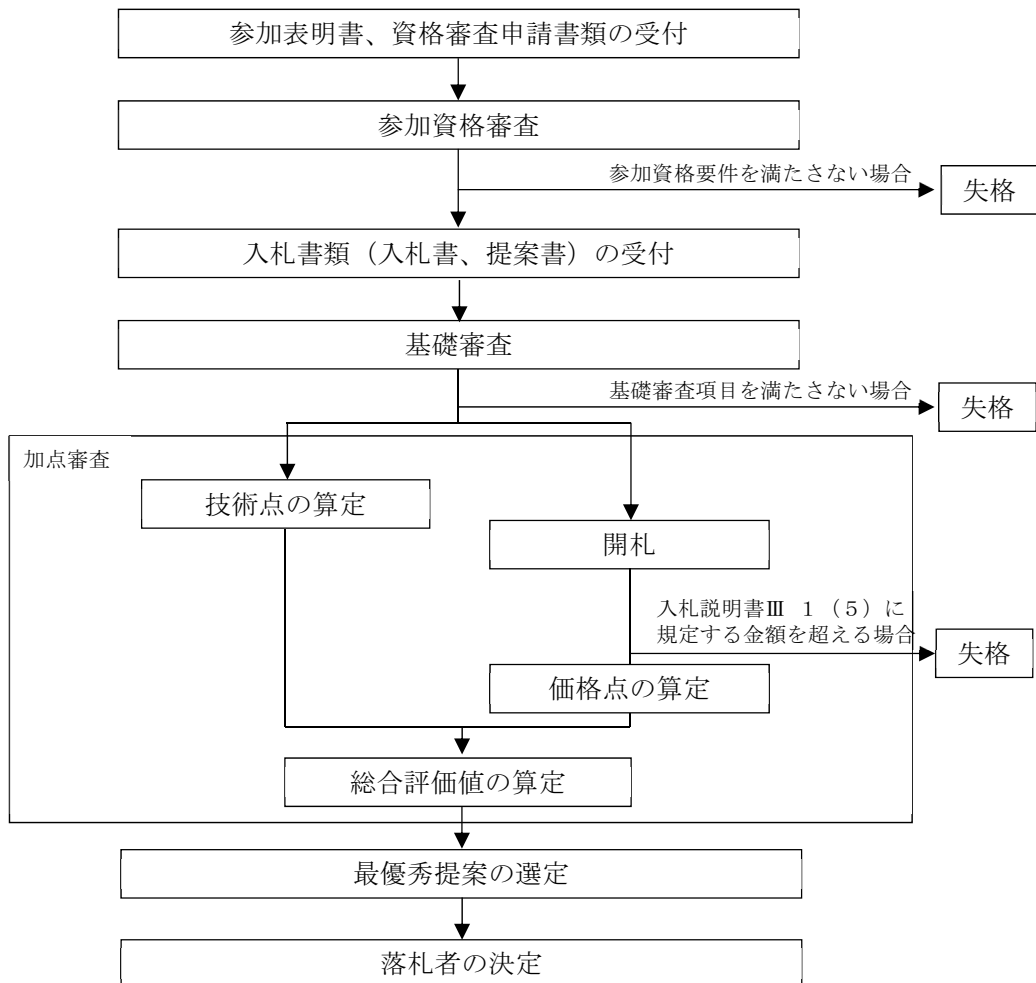


図1 審査の流れ

## (1) 参加資格審査

市は、資格審査申請書類により、入札説明書に記載した入札参加者が満たすべき参加資格要件について確認し、確認の結果を入札参加者の代表企業に対し通知する。確認できない場合は失格とする。

## (2) 基礎審査

### 1) 審査方法

市は、入札参加者から提出された入札書類が本書に示す基礎審査項目を満たしているか否かを審査し、その確認の結果を入札参加者の代表企業に対し通知する。

基礎審査項目について1項目でも満たさないことが確認された場合は失格とする。全ての基礎審査項目を満たしていることが確認された場合、当該入札書類について加点審査を行う。

表1 基礎審査項目

審査対象	審査項目
全般的事項	<ul style="list-style-type: none"><li>提出が求められている書類が揃っていること。</li><li>入札書類全体について、同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。</li><li>入札書類全体について、指定された構成（項目の構成、ページ数制限等）となっていること。</li></ul>
整備に関する事項	<ul style="list-style-type: none"><li>各様式（「様式集」参照）に対して記載された提案の内容及、要求水準を満たしていること。</li></ul>
運営に関する事項	<ul style="list-style-type: none"><li>各様式（「様式集」参照）に対して記載された提案の内容及、要求水準を満たしていること。</li></ul>
事業計画に関する事項	<ul style="list-style-type: none"><li>各様式（「様式集」参照）に対して記載された提案の内容及、要求水準を満たしていること。</li><li>リスク分担について、入札説明書等で示したリスクの分担方針との齟齬がないこと。</li></ul>

## (3) 加点審査

### 1) 審査方法

宝塚市新ごみ処理施設等整備・運営事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）は、事業者から提案された入札価格及び提案内容について、総合的に審査を行う。

入札価格以外の提案内容については、下記2)に従い得点化を行う。また、入札価格については、下記3)に従い得点化を行う。

選定委員会は、提案内容の得点及び入札価格の得点の合計（総合評価値）が最も高い提案を行った入札参加者を最優秀提案者として選定する。なお、総合評価値が同点の場合は、提案内容の得点がより高い提案を行った入札参加者を最優秀提案者とする。提案内容の得点も同点の場合は、複数の最優秀提案者を選定する。

### 2) 提案内容の得点化方法

選定委員会は、提案内容について、表3に示す項目ごとに評価に応じて得点を付与する。

なお、提案内容の審査項目について、評価の視点ごとに、次の表に示す5段階評価に基づき審議を行い、得点を付与する。

表2 提案内容評価の得点化方法

評価	判断基準	得点化方法
A	特に優れている	配点 ×100%
B	AとCの中間程度	配点 ×75%
C	優れている	配点 ×50%
D	CとEの中間程度	配点 ×25%
E	特筆すべき提案がない (要求水準における最低限のレベルである)	配点 ×0%

### 3) 入札価格の得点化方法

開札を行い、入札書に記載された金額が、入札説明書Ⅲ 1 (5) に規定する金額の範囲内であることを確認するとともに、次の方法により得点を付与する。

なお、開札の結果、入札書に記載された金額が、入札説明書Ⅲ 1 (5) に規定する金額を超える場合は失格とする。

ア 入札参加者の中で、最低入札価格となった提案に対し、入札価格に関する配点の満点(50点)を付与する。

イ 他の入札参加者の提案については、最低入札価格との比率により算出する。なお、得点は小数点第三位以下を四捨五入した値とする。

(算定式)

$$\text{入札価格の得点} = \frac{\text{最低入札価格}}{\text{入札価格}} \times \text{満点の点数}$$

### 4) 審査項目及び配点

加算審査における審査項目及び配点を、表3に示す。審査項目及び配点については、市が本事業に期待する事項の必要性又は重要性を勘案して設定したものである。

表3 提案内容の評価項目及び評価ポイント

評価項目	配点	対応する様式	評価ポイント	
I. 循環型のまちづくりに寄与する施設				
①気候変動への対応	6点	9点	様式9-1 <ul style="list-style-type: none"> <li>一般廃棄物焼却施設における一般廃棄物処理量当たりの二酸化炭素排出量が、エネルギー回収推進施設の1日当たり処理能力から算出される基準値(=263kg-CO<sub>2</sub>/t-焼却ごみ)を下回る提案を求める。(なお、算出に当たって廃プラスチック類の焼却に由来するCO<sub>2</sub>排出量は、要求水準書に示す基準ごみ質から算出される値(=331kg-CO<sub>2</sub>/t-焼却ごみ)を用いること。)</li> <li>エネルギー回収率向上及び売電量最大化についての提案を求める。また、エネルギー回収率向上に当たりトレードオフとなる設備の損耗も考慮すること。</li> <li>消費電力の数値についての提案を求める。また、その所内負荷低減にあたっての根拠(システム・機器及び運用面の工夫)を示すこと。</li> </ul>	
②自然エネルギーの利用	1点			様式9-2 <ul style="list-style-type: none"> <li>太陽光発電システム、風力発電システムなどの導入提案を求める。また、それらを啓発面で活用する提案を求める。</li> <li>施設の建築面において自然光や自然換気などの導入提案を求める。また、それらを啓発面で活用する提案を求める。</li> </ul>
③資源回収(マテリアルリサイクル推進施設)	2点			様式9-3 <ul style="list-style-type: none"> <li>各資源の回収率の目標値についての提案を求める。また、その回収率向上にあたっての工夫を求める。</li> <li>エネルギー回収推進施設の処理対象となる残渣量の提案を求める。また、その削減にあたっての工夫を求める。</li> </ul>
II. 安全で環境保全に優れた施設				
①環境保全対策(仮設リサイクル処理場)	1点	4点	様式9-4 <ul style="list-style-type: none"> <li>仮設リサイクル処理場でのごみの飛散防止、騒音対策、臭気対策、粉じん対策についての提案を求める。</li> </ul>	
②環境保全対策(エネルギー回収推進施設・マテリアルリサイクル推進施設)	1点			様式9-5 <ul style="list-style-type: none"> <li>マテリアルリサイクル推進施設での搬出時の騒音対策についての提案を求める。また、エネルギー回収推進施設やマテリアルリサイクル推進施設の建屋から外部への臭気漏洩防止対策についての提案を求める。</li> <li>管理棟や見学者ルートへの臭気・粉じん漏洩防止対策、騒音・振動伝播防止対策についての提案を求める。</li> </ul>
③工事中の安全対策(仮設リサイクル処理場も含む)	1点			様式9-6 <ul style="list-style-type: none"> <li>工事中及び仮設リサイクル処理場の車両・人動線についての工夫を求める。</li> <li>仮設リサイクル処理場での防火・防爆、運転管理上の安全確保についての工夫(保守の容易さ、作業の安全、各種保安装置等)を求める。また、その他の事故防止の対策についての工夫を求める。(具体的な想定される事故を挙げて、その対策を示すこと。)</li> </ul>
④施設竣工後の安全対策(エネルギー回収推進施設・マテリアルリサイクル推進施設)	1点			様式9-7 <ul style="list-style-type: none"> <li>竣工後の車両・人動線についての工夫(エリア区分、見学者対応の安全、プラットホーム内の搬入動線、敷地全体の配置・動線の安全性・効率性)を求める。</li> <li>防火・防爆、運転管理上の安全確保についての工夫(保守の容易さ、作業の安全、各種保安装置、フェールセーフ・フルプルーフの考え方を反映した設計等)を求める。また、その他の事故防止の対策についての工夫を求める。(具体的な想定される事故を挙げて、その対策を示すこと。)</li> </ul>
III. 安定した稼働ができ、災害に強い施設				
①安定稼働(仮設リサイクル処理場)	3点	13点	様式9-8 <ul style="list-style-type: none"> <li>不適合物混入防止について計量時及びプラットホームでのごみ搬入等の受入体制・受入対応についての工夫(不適合物の搬入チェック体制、システム上の工夫、搬入者への指導方法等)、不適合物除去の工夫(選別工程での工夫)を求める。</li> <li>仮設リサイクル処理場内の配置、処理動線についての工夫を求める。</li> </ul>	
②施設の安定稼働(エネルギー回収推進施設・マテリアルリサイクル推進施設)	4点			様式9-9 <ul style="list-style-type: none"> <li>不適合物混入防止について計量時及びプラットホームでのごみ搬入等の受入体制・受入対応についての工夫(不適合物の搬入チェック体制、システム上の工夫、搬入者への指導方法等)、不適合物除去の工夫(選別工程での工夫)を求める。</li> <li>自動運転や遠隔監視システム等の導入提案を求める。ただし、それらのシステム等異常時の対応策を考慮すること。(具体的な想定される異常を挙げて、その対策を示すこと。)</li> <li>平常時の受入・貯留スペースの容量についての提案(搬入のピーク時にも対応が可能な容量確保)を求める。(具体的な貯留容量及び算出根拠を示すこと。)</li> <li>緊急時の受入・貯留スペース確保についての提案(後段の処理設備の故障や修繕等により処理できない事態を想定し、屋内の空きスペース(ランプウェイ下部等)の有効利用や、予備の緊急避難的な受入・貯留スペース確保等)を求める。(具体的な貯留容量及び算出根拠を示すこと。)</li> </ul>
③ごみ予約受付	2点			様式9-10 <ul style="list-style-type: none"> <li>一般持込ごみの予約受付について、市民サービス向上の提案(受付システムの提案、受付の流れ、予約の繋がりにくさの解消、1件あたりの処理時間短縮、インターネット予約システムの具体性・利便性、一般持込受入ヤードでの対応、受入施設側との連携、受入可能台数の向上など)を求める。</li> <li>収集粗大ごみの予約受付について、市民サービスを低下させない提案(受付システムの提案、受付の流れ、予約の繋がりにくさの解消、1件あたりの処理時間短縮、インターネット予約システムの具体性・利便性、収集粗大受入ヤードでの対応、受入施設側との連携、市の収集との連携、収集ルート図自動作成など)を求める。</li> </ul>
④災害対策(緊急時のマニュアル含む)	2点			様式9-11 <ul style="list-style-type: none"> <li>水害・地震等の災害時の安全確保、管理体制、連絡体制、運転方法、事後対策、教育・訓練方法についての工夫を求める。</li> <li>災害廃棄物等の受入体制についての工夫(災害廃棄物の一時受入・貯留場所の運用や、本市と連携を図り、積極的な受入態勢を迅速に構築できるなど)を求める。</li> <li>事業の継続計画についての提案(ユーティリティの確保、運転員用の備蓄、災害時の運転体制の構築等)を求める。</li> </ul>
⑤リスク管理	2点			様式9-12 <ul style="list-style-type: none"> <li>本事業に伴うリスクの認識と対応策(リスクの内容及び管理方法、負担者、保険活用等)について、提案や工夫を求める。(具体的な想定されるリスクを挙げて、その対策を示すこと。)</li> </ul>

内容点

評価項目		配点	対応する様式	評価ポイント
IV. 経済性・効率性に優れた施設				
①施設の長寿命化（ライフサイクルコスト削減）	4点	17点	様式9-13	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営期間中の維持管理費低減にあたっての工夫を求める。また、施設の長寿命化にあたって、35年以上の施設利用を考えた施設の保全や延命化の工夫、運営期間終了後の補修・更新費等を最小化するための工夫を求める。</li> <li>運営期間終了後の基幹改良工事实施を想定した工夫（施設を稼働しながら工事を行いやすいように、工事車両動線や重機設置場所を考慮した配置計画とすることや、基幹改良時のごみの安定処理（全停止期間の最短化）など）を求める。</li> </ul>
②建替え工事の円滑な実施	4点		様式9-14	<ul style="list-style-type: none"> <li>狭小敷地内でのスクラップ&amp;ビルドを行うにあたっての工夫（取合いの調整や、工事遅延防止のための対策等）を求める。</li> <li>土壌汚染（埋設廃棄物を含む）、地下水、液状化、地下工作物等の工事上の問題点抽出とその対応についての工夫を求める。</li> <li>工程管理方法についての工夫（設計工程管理・届出対応、工事工程の管理など）を求める。</li> </ul>
③効率的な運転管理・人員配置	7点		様式9-15	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー回収推進施設及びし尿処理施設について、運転管理や人員配置を効率的に行う提案（自動化や遠隔監視システム導入等）を求める。</li> <li>マテリアルリサイクル推進施設について、作業人員配置を効率的に行う提案（設備や処理フローでの対応、運用での対応等）を求める。</li> <li>仮設リサイクル処理場について、作業人員配置を効率的に行う提案（設備や処理フローでの対応、運用での対応等）を求める。</li> </ul>
④財務計画（長期収支の安定性）	2点		様式9-16	<ul style="list-style-type: none"> <li>SPCの財務計画について、長期事業であることを踏まえた安定的な経営・事業収支の視点からの提案（SPC資本金の考え方、配当の考え方、SPC経営悪化時の対応策、運転資金不足顕在化時の対応策、EIRR設定の考え方、固定費・変動費の考え方など）を求める。</li> </ul>
V. 環境学習・理科学習の要となり、学べる施設				
①環境学習・理科学習	2点	2点	様式9-17	<ul style="list-style-type: none"> <li>見学ルート及び見学内容についての提案（理科学習となる工夫・仕掛け（例：ものが燃える原理、電気ができる原理、排ガス処理や排水処理の原理、省エネについて白熱球・蛍光灯・LEDの消費電力の違いを体験する、太陽光パネルの構造とリサイクルなど）、費用対効果が高く陳腐化しない工夫等）を求める。</li> </ul>
VI. 周辺の景観に調和し、市民に親しまれる施設				
①景観（施設全体）	3点	3点	様式9-18	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑地計画や建築計画についての提案（地域性や景観に配慮したデザイン、中・近遠景からの視点でのデザイン、一見してごみ処理施設とはわからないようなデザイン）を求める。</li> <li>施設に訪れた人が快適に感じるような提案（管理棟や見学者ルートの中のデザイン）を求める。また、憩いの広場についての提案（広場のデザイン、樹木や草花など自然を感じさせる工夫、維持管理計画の効率性等）を求める。</li> </ul>
VII. その他の提案				
①I～VIの評価項目以外の自由提案	2点	2点	様式9-19	<ul style="list-style-type: none"> <li>その他、本事業の目的達成のための提案を求める。</li> </ul>
価格点	入札価格に関する事項		50点	入札書
合計		100点		



### Ⅲ 落札者の決定

市は、選定委員会の審査結果を踏まえ、落札者を決定する。ただし、選定委員会が2以上の最優秀提案を選定した場合は、当該最優秀提案者によるくじ引きにより落札者を決定する。